

# 関西広域連合 漁業就業ガイド

関西広域連合の域内では、それぞれの自然・社会環境に応じた漁業が展開されており、多様な水域から豊富な水産物が漁獲されています。

この「漁業就業ガイド」では、関西広域連合域内における漁業に関する新規就業者の状況や新規就業支援制度などを集約しました。関西での漁業への就業を目指している皆さんの「道しるべ」としてご活用いただければ幸いです。

## 目 次

滋賀県	• • • • •	1
京都府	• • • • •	3
大阪府	• • • • •	5
兵庫県	• • • • •	7
和歌山県	• • • • •	9
鳥取県	• • • • •	11
徳島県	• • • • •	13



平成29年度版  
 関西広域連合 広域産業振興局  
 農林水産部 水産課

# 滋賀県

滋賀県農政水産部  
水産課

〒521-8577

滋賀県大津市京町四丁目1-1

☎077-528-3873(直通)

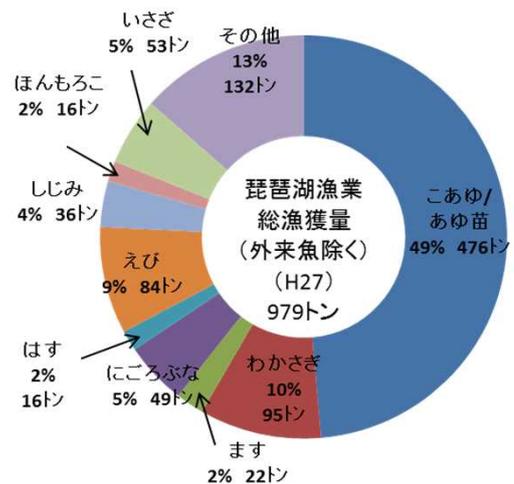
## ◆滋賀県の漁業

滋賀県は、県の面積の1/6 を占める琵琶湖を県土の中心に擁しており、周囲の1,000m級の山々から流れ出す大小460本の河川が、琵琶湖に注ぎ込んでいます。

琵琶湖は日本最大の湖であるだけでなく、世界有数の古代湖でもあり、魚類や貝類、水草など50種以上の固有種を含む約1千種の生物が生息し、豊かな生態系を有しています。

このため、琵琶湖周辺では有史以前から人々の暮らしが営まれ、「えり」や「やな」など独特の漁業が発展し、鮒ずしをはじめとする滋賀県独自の食文化が受け継がれてきました。

琵琶湖における平成27年の漁獲量の内訳をみると、アユ（鮮魚流通用、養殖・放流種苗用）の漁獲量が最も多く476トンで、全体の約49%を占めています。次にワカサギ95トン、エビ類84トン、イサザ53トン、ニゴロブナ49トンと続き、これらの5魚種で漁獲量の約8割を占めています。



H27年琵琶湖漁業の総漁獲量（外来魚を除く）

## ◆新規就業者の状況

琵琶湖で営まれる漁業は、ほぼ全てが自営漁業となっており、えり漁業（小型定置網）のほか、小型機船底びき網（手繰第1種、3種）、刺網などの漁船漁業が中心となっています。

このため、新規で漁業への就業を希望する場合は、県内の漁業協同組合で研修を受けるなど、個別に漁労技術を習得するとともに、漁船や漁具などの装備を自ら入手する必要があります。

## ◆新規就業支援制度

漁業への新規就業にあたっては、漁労技術の習得や設備取得にかかる資金など、初期の段階から定着、経営安定に至るまで課題が多いのが現状です。

漁業への就業を検討する場合には、漁労技術の習得だけでなく、漁業経営に関する的確な計画を立てることが必要です。

このため、実際に漁業を営んでいる先輩漁業者から漁業に関する様々な情報を入手できるよう、短期の体験研修などの取り組みを進めています。

### ○体験研修（滋賀県独自事業：しがの漁業担い手確保事業）

- ・普段目にする事の無い漁労作業を実際に体験することで、就業を具体的に検討する機会を提供します。（最大5日間）

### ○中期研修（滋賀県独自事業：しがの漁業担い手確保事業）

- ・指導する漁業者が、研修生を日々雇用者として雇入れ、基礎的な漁労の技術や漁村地域の行事等について指導する研修を支援します。（最大6カ月間）

### ○長期研修（国事業：新規漁業就業者総合支援事業）

- ・指導する漁業者が、漁業に就業する意思を固めた研修生を従事者として雇入れ、本格的な漁労技術を指導する長期研修を支援します。（独立型：最長3年間）

上記について、詳しい情報や相談を受け付ける相談窓口を設置しています。相談窓口では、琵琶湖漁業の魅力や研修生募集などの情報を提供するWEBサイトを開設しています。当サイトでは、琵琶湖漁業の漁法や対象魚種のほか、研修受講の流れや漁村で使われる言葉などの情報を掲載しています。

※上記支援制度等には、年齢など他に要件が設定されているものがありますので、内容については下記窓口までお問い合わせ下さい。

## ◆就業相談窓口

琵琶湖の漁業と就業に関するお問い合わせは、下記センターまでお願いします。

しがの漁業技術研修センター

〒520-0801 大津市におの浜4丁目4-23（滋賀県漁業協同組合連合会内）

☎077-524-2418（代表）

琵琶湖の漁師になる で 検索

# 京都府

京都府農林水産部  
水産課  
〒600-8570 京都市上京区  
下立売通新町西入藪ノ内町  
☎075-414-4994(直通)

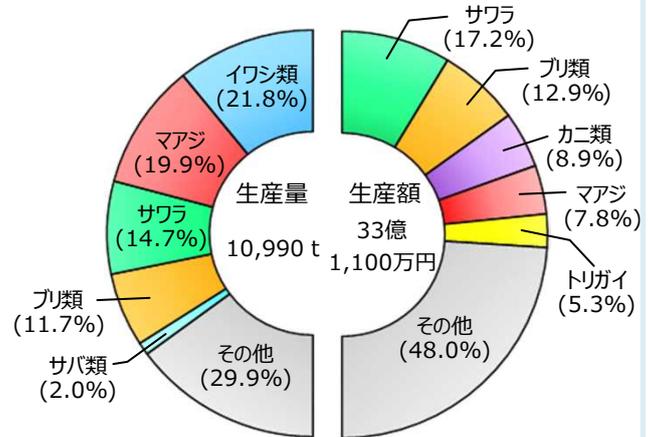
## ◆京都府の漁業

京都府は、穏やかな若狭湾と対馬暖流の影響を受ける日本海に面しているため、府内漁場では、暖流に乗って来遊してくる暖海性のサワラやマグロなどの浮魚類、日本海固有水(冷水)で生活するズワイガニやカレイ類等の底魚類、山や里から運ばれてくる栄養塩によって支えられている沿岸性のアワビやトリガイなど多種多様な魚介類が生息し、四季を通じて様々な漁業が営まれています。

平成11年頃から、日本海に来遊するサワラが増えましたが、それに伴い京都府の漁獲量も全国1位に急増し、サワラは京都府にとって大変重要な魚種になっています。

漁業については、生産量、生産額とも大型定置網の比率が高く、生産量の約8割、生産額の約6割を占めています。その他、ズワイガニ、アカガレイ等を対象とした、沖合・小型底びき網漁業。「丹後ぐじ」等を対象とした釣・はえ縄漁業などが営まれています。

養殖業については、トリガイを始めとする二枚貝類や海藻類の生産に適した内湾漁場に恵まれた地の利を生かして、他府県より優れたものを生産しています。



魚種別生産高 (平成27・京都府水産事務所調べ)

京都府の冬の  
味覚の王様  
ズワイガニ



漁獲量が急増  
↑ ↑ ↑  
サワラ



大型定置網で活躍する  
研修修了生(中央)



海の民学舎生  
トリガイ養殖実習

## ◆新規就業者の状況

京都府では、毎年約50名の方が新たに漁業へ就業されています。府外からの新規就業については、定置網、底びき網などの雇用型漁業が中心です。

参考(平成28年度実績)

- ・新規就業者数 56名(うち漁家子弟以外 35名)
- ・年齢構成 10~20代: 9名、30~40代: 15名、50代以上: 32名
- ・漁業種類 定置網、底びき網、一本釣、採介藻、貝類養殖など

## ◆新規就業支援制度

漁業への新規就業にあたっては、技術習得や設備投資など、初期段階での課題が多いため、海の民学舎をはじめとする様々な支援制度を活用することにより、スムーズな就業につなげていきます。

### 1 海の民学舎

H30年度第4期生募集中、H29.12.15まで

#### ① 海の民学舎とは

将来の漁業や漁村を支える人材を「海の民」と位置づけ、これら「海の民」を育成するため漁業団体と沿海市町、府が共同で運営する学びの場です。

学舎では、就業を希望する者が体系的に漁業者としての基本的な知識・スキルを身につける場、若手・中堅漁業者が経営力アップのため切磋琢磨できる実践的な研修の場を提供します。

研修風景

講義



実習(はえ縄  
漁具づくり)

専門スタッフ、漁業者等が、丁寧に教えます(初心者でも安心)

#### ② 運営体制

漁業団体(漁協、信漁連)、沿海市町、府による「海の民学舎運営協議会」が運営(事務局は京都府水産事務所内に設置。専属職員を漁協が配置)

#### ③ 内 容 新規就業者講座 10名/年

各種漁業について実践的な研修を実施、新規就業者の技術習得を支援

1年目：漁業制度や漁村生活等の講座基礎、漁具作成等の実習基礎、  
定置網、養殖など府内主要漁業現場での実践的な研修

次世代人材投資事業(最大150万円/年)を活用

2年目：漁村に移住し、キャップストーン研修として希望する漁業現場  
で長期研修

受入事業体と学舎が連携し、一体となって実習をサポート！！

#### 2 長期研修支援制度

・漁業現場で働きながら、指導者から基礎的な漁労作業を学ぶことができる長期研修を支援(雇用型：最長1年間、独立型：最長3年間)

#### 3 漁船等リース事業

・漁協が新規就業者(組合員)とリース契約を締結、その中古漁船等を漁協が取得、整備する費用の一部を府・市町が補助

#### 4 融資制度(沿岸漁業改善資金)

・漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資

上記のほか、空き家の改修経費を支援する制度もあります。

府内市町による独自の支援制度があります。

※上記支援制度には、年齢など他に要件が設定されているものがあります。

## ◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

京都府 海の民学舎(京都府水産事務所内 海の民学舎担当)

〒626-0052 京都府宮津市字小田宿野1092-3

☎0772-25-3030(直通)

海の民学舎.com

検索

# 大阪府

大阪府環境農林水産部  
水産課  
〒559-8555  
大阪府住之江区南港北1-14-16  
☎06-6210-9612(直通)

## ◆大阪府の漁業

大阪湾は古くから「茅渚（ちぬ）の海」と呼ばれ、海の栄養分が多いことから魚介類が豊富でさまざまな漁業が盛んに営まれてきました。

現在も多様な魚介類が水揚げされており、大消費地に位置するという立地条件を活かした都市型の漁業が活発に行われています。



まき網漁業の様子



大阪湾で漁獲される魚は、マイワシやカタクチワシなど多獲性のものや、茅渚の語源であるクロダイ（ちぬ）、春を告げる魚として親しまれるサワラ、大阪の食文化には欠かすことのできないハモ、大阪のブランドとして知られる泉だこ（マダコ）、高級魚として定評があるキジハタ（アコウ）など種類が豊富です。かつて天下の台所とされ、今日「食いだおれの街」と呼ばれる大阪の食文化とも密接に関わっています。

大阪府の漁業者のうち、若年層（15歳～40歳）の割合は20.1%と全国平均の16.9%を上回っており、若く活気のある漁業が営まれています。また、都市近郊で余暇や生活環境にもすぐれ、全国的にも注目されています。

## ◆新規就業者の状況

大阪府において28年度に新規で就業された方は38名と過去5年間の中で最高となっています。

### ○平成28年度実績（参考）

新規就業者数：38名（内漁家子弟以外21名）

年齢構成：10～20代：19名

30～40代：18名

50代～：1名

## ◆新規就業支援制度

大阪府において以下の支援制度があります。

- 長期研修（新規漁業就業者総合支援事業）  
漁業現場で働きながら、指導者から基礎的な漁労作業を学ぶことができる長期研修を支援（雇用型：最長1年間、独立型：最長3年間）。
- 融資制度（沿岸漁業改善資金）  
漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資。

その他、府内市町村による独自の支援制度があります。

- 忠岡町：忠岡町レベルアップ支援補助金  
忠岡町在住、町内事業所で勤務する方が国家資格（船舶操縦免許含む）等に合格した際に、経費の一部を補助する制度。  
お問合せ先  
忠岡町役場 産業振興課 0725-22-1122
- 岬町：岬町農・漁業新規就労者支援事業補助金  
新たに町内で漁業及び農業に就労した転入者に家賃補助する制度。  
お問合せ先  
岬町総務部企画地方創生課 072-492-2775

※上記支援制度には、年齢など他に要件が設定されているものがありますので、内容については下記窓口・もしくは各市町村までお問い合わせ下さい

## ◆就業相談窓口

お問い合わせは下記および各市町村にお願いいたします。

大阪府環境農林水産部水産課  
〒559-8555  
大阪府住之江区南港北1-14-16  
☎06-6210-9612（直通）

# 兵庫県

兵庫県農政環境部  
農林水産局水産課  
〒650-8567  
兵庫県神戸市中央区下山手通  
5丁目10-1  
☎078-362-3478(直通)

## ◆兵庫県の漁業

兵庫県は、自然条件が大きく異なる瀬戸内海と日本海に面しており、それぞれの海域で、その特性に合わせた漁業が営まれています。

平成27年の漁業生産金額は、448億円で全国10位に位置するとともに、生産量では、近畿6府県の約7割を占め、京阪神等に新鮮な魚介類を供給する生産基地になっています。

### 【瀬戸内海】

10トン未満の小型漁船を使った船びき網や小型底びき網、一本釣り、ノリやカキの養殖などの沿岸漁業が営まれています。

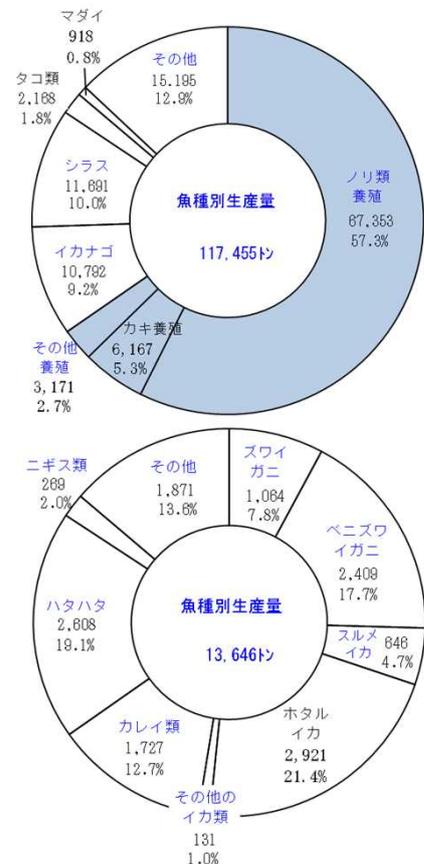
主要魚種のイカナゴ、シラス、養殖ノリの生産量は全国1位、スズキ類、タコ類の生産量は全国2位です。

### 【日本海】

19~125トンの大型漁船を使った沖合漁業が主力で、沖合底びき網漁船数は全国最多の規模になっています。

主要魚種であるズワイガニ、ホタルイカ、ハタハタの生産量は、全国1位です。

また、沿岸では、イカ釣りや定置網などが営まれています。



## ◆新規就業者の状況

兵庫県では、毎年約50名の方が新たに漁業に就業されています。

漁家子弟外からの新規就業は、瀬戸内海では、船びき網、のり・かきの養殖業の手伝い、日本海では沖合漁業の船員として雇用される場合が多くなっています。

参考（平成28年度実績）

- 新規就業者数 59名（うち漁家子弟以外 41名）
- 年齢構成 ~20代：38名 30~40代：13名 50代~：5名  
※未確認：3名
- 漁業種類 船びき網、ノリ養殖、カキ養殖、沖合底びき網 等

## ◆新規就業支援制度

新規就業者は技術習得、設備取得について、次の支援制度が利用できます。

なお、利用の際には、制度ごとに年齢など様々な要件が設定されています。詳しくは下記の相談窓口まで、お問合せください。

### ○ 技術習得（研修制度）

- 新規漁業就業者総合支援事業（国事業）  
新規漁業就業者の漁業現場での長期研修を支援
- 沖合漁業船員育成・定着促進事業  
日本海の沖合漁業に就業を希望する未経験者を対象に、沖合に出漁することの不安を解消するため、実際に乗船してもらう長期研修を支援

基礎的な技術の習得後には

- 漁業就業者ステップアップ研修支援事業  
雇用就業からの独立や漁船漁業と養殖業の複合経営、6次産業化を目指す希望者に対する研修を支援

### ○ 設備取得 *※原則として、研修制度などで、一定の技術を習得した者が利用できる制度です*

- 沿岸漁業改善資金（青年漁業者等養成確保資金）  
漁業の開始に必要な漁船、漁具などを購入する資金を無利子で融資
- 漁業施設貸与事業  
漁業協同組合等に対し、新規就業者等に貸与するための漁船等の施設の整備に必要な経費を支援

## ◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記窓口までお願いします。

兵庫県漁業協同組合連合会 指導部  
〒673-0883 明石市中崎1-2-3（兵庫県水産会館内）  
電話 078-940-8013（直通）

# 和歌山県

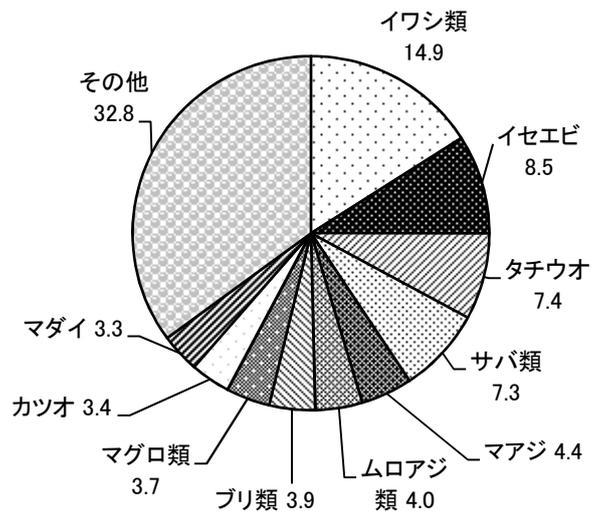
和歌山県農林水産部  
水産局水産振興課  
〒640-8585  
和歌山県和歌山市小松原通1-1  
☎073-441-3000(直通)

## ◆和歌山県の漁業

和歌山県は、比較的穏やかな内海性の瀬戸内海と黒潮の影響を強く受ける外洋性の太平洋に面しており、それぞれの海域特性に応じて様々な種類の漁業が営まれています。

和歌山県北部では、一本釣のほか、タチウオやエビ類等を対象とした底びき網、シラスやイカ類を対象とした船びき網などが、県中・南部では、アジ類やサバ類等を対象としたまき網、定置網、敷網、カツオやマグロ類等を対象としたひき縄釣、一本釣、イセエビや磯魚を対象とした刺網などが営まれています。また、養殖業については、海藻類などのほか、特に県南部ではマダイやクロマグロなどが多く生産されています。

和歌山県では、イワシ類（シラス等）、イセエビ、タチウオ、サバ類、マアジ、ムロアジ類などの水揚げが多く、中でもイセエビ、タチウオ、ムロアジ類は全国上位の産出額を誇ります。



和歌山県のH27海面漁業魚種別産出額(金額単位:億円)

## ◆新規就業者の状況

和歌山県では、毎年約40名の方が新たに漁業へ就業されています。県外からの新規就業については、底びき網、船びき網、まき網、定置網などの雇用型漁業が中心となっています。

参考(平成28年度実績)

- 新規就業者数 31名(うち漁家子弟以外16名)
- 年齢構成 10~20代:12名、30~40代:10名、50~60代:9名
- 漁業種類 底びき網、船びき網、まき網、定置網、一本釣など

## ◆新規就業支援制度

漁業への新規就業にあたっては、技術習得や設備投資など、初期段階での課題が多いため、様々な支援制度を活用することにより、スムーズな就業に繋げていきます。

### ○長期研修（新規漁業就業者総合支援事業）

- ・ 漁業現場で働きながら、指導者から基礎的な漁労作業を学ぶことができる長期研修を支援（雇用型：最長1年間、独立型：最長3年間）

### ○融資制度（沿岸漁業改善資金）

- ・ 漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資

上記の他、県外から移住して就業される方へは、以下の支援があります。

### ○移住者農林水産就業補助金

- ・ 漁業経営を開始するための漁業設備等の購入経費を支援

### ○若年移住者暮らし奨励金

- ・ 若年移住者の生活費の一部を支援

### ○空き家改修補助金

- ・ 空き家の改修経費を支援

その他、県内市町村による独自の支援制度があります。

### ○有田市

- ・ 小型船舶操縦士免許など資格取得に要する経費や家賃を支援

### ○田辺市

- ・ 短期（1～3日）の漁業就業体験を支援

### ○すさみ町

- ・ 漁船等の購入経費を支援

※上記支援制度には、年齢など他に要件が設定されているものがありますので、内容については下記窓口までお問い合わせ下さい。

## ◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記センターまでお願いします。

和歌山県漁業就業者確保育成センター

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1（和歌山県庁水産振興課内）

☎073-441-3000（直通）

和歌山 漁業就業 で [検索](#)

# 鳥取県

鳥取県農林水産部  
水産振興局水産課  
〒680-8570  
鳥取県鳥取市東町1丁目220番地  
☎0857-26-7314(直通)

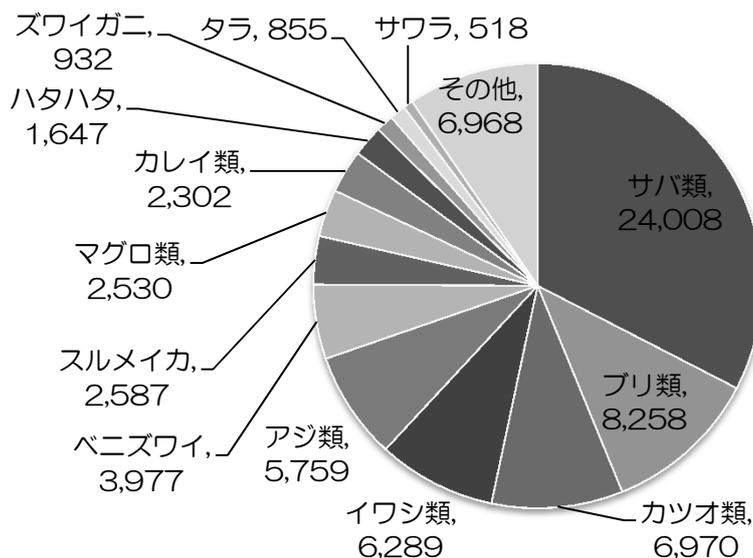
## ◆鳥取県の漁業

鳥取県の沿岸域は、鳥取砂丘に代表されるように砂浜域が多く、一部に大山の火山岩からなる天然礁があります。県西部には当県唯一の内湾である美保湾があり、いずれも好漁場となっています。

境漁港では、まき網で漁獲されたマグロ、アジ、イワシなどの浮魚や、かにかご漁業で漁獲されたベニズワイガニが水揚げされています。沖合底びき網漁業では、ズワイガニやカレイなどの底魚類を漁獲しており、鳥取港、網代漁港、境漁港に水揚げしています。

沿岸漁業では、小型底びき網、刺網、一本釣り、定置網などが各地で営まれています。また、養殖業については、海上でギンザケ養殖などが行われており、陸上ではキジハタ、ヒラメ、マサバなどが養殖されています。

鳥取県では、サバ、ブリ、イワシ、アジ類、ベニズワイガニ、クロマグロ、ズワイガニ、サワラ、などの水揚げが多く、中でも生のクロマグロ、ベニズワイガニは、全国1位の水揚量を誇ります。



海面漁業生産統計調査  
平成27年鳥取県漁業・養殖業生産統計 (トン)

## ◆新規就業者の状況

鳥取県では、県内外から毎年約20名の方が大中型まき網、沖合底びき網、かにかご、定置網、養殖漁業などへ漁業従事者として就業されています(雇用型)。

また、雇用型とは別に、最長3年間の漁業研修を受けた沿岸漁業新規着業者が毎年数名誕生しています(独立型)。

参考(平成28年度実績)

- ・雇用型 21名
- ・独立型 2名(県研修1名、国研修1名)

## ◆漁業就業者確保対策事業

### 事業の目的

新規漁業就業者を確保するため、就業希望者の研修等に必要な経費に支援を行う。

### 漁業研修事業

#### 雇用型研修

事業内容	漁業経営体等に漁船員等として雇用し、OJT研修を実施する経費に支援する。			
事業主体	鳥取県内の漁業協同組合、漁業組合、漁業経営体			
研修生	研修する漁業の未経験者、事業主体の代表者の3親等以内でない者			
研修期間	最長1年			
補助対象経費	指導経費	60,000円/月	研修手当	沖合漁業185,400円/月 沿岸・養殖漁業141,600円/月
	研修用具費	30,000円		
	船員手帳作成費	10,000円	赴任旅費	20,000円
	移住定住準備費	99,000円	住居・通勤手当	33,000円/月
補助率	【県】 指導経費以外 10/10		【市町村】 指導経費 1/2	

#### 独立型研修

事業内容	独立操業を目指すための研修を実施する経費に支援する。			
事業主体	鳥取県内の漁業協同組合			
研修生	研修する漁業の未経験者（65歳未満）			
研修期間	最長3年（ただし、50歳以上65歳未満の者は最長1年）			
補助対象経費	指導経費	100,000円/月	研修手当	141,600円/月
	研修用具費	30,000円/年	技術習得費	210,000円
	赴任旅費	20,000円	移住定住準備費	99,000円
	住居・通勤手当	33,000円/月	※50歳以上65歳未満の者は指導経費のみ対象	
補助率	【県】 指導経費 1/2 指導経費以外 10/10		【市町村】 指導経費 1/3	

### 漁業経営開始円滑化事業

事業内容	新規就業者が漁業経営を開始する時に必要な漁船・機器・漁具を漁協が整備してリースする場合、その経費に支援する。 ※補助対象経費の上限額：2,500万円 ※リース期間：5年以上15年以内
事業主体	漁業協同組合
補助率	【県】 1/2 【市町村】 1/6

## ◆就業相談窓口

鳥取県農林水産部水産振興局水産課漁業経営担当

電話 0857-26-7314 ファクシミリ 0857-26-8131

# 徳島県

徳島県農林水産部  
水産振興課  
〒770-8570  
徳島県徳島市万代町1-1  
☎088-621-2470(直通)

## ◆徳島県の漁業

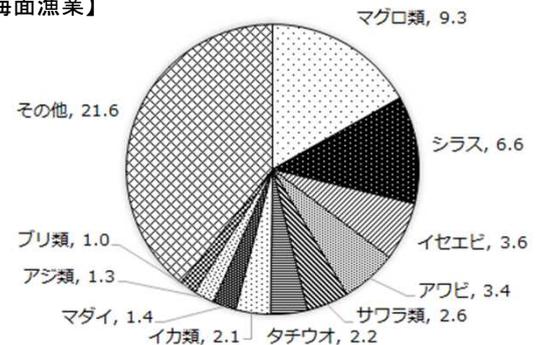
徳島県は、穏やかな内海性の播磨灘、吉野川、那賀川の二大河川の流入により栄養分豊かな紀伊水道そして外洋性の太平洋の三つの海に面しており、それぞれの海域特性に応じた多種多様な漁業が営まれています。

播磨灘では、マダイ等を対象とした定置網、エビ類などを対象とした小型底びき網のほか、ブリ類やワカメの養殖業が盛んに営まれており、紀伊水道では、ハモ、イカ類、エビ類を対象とした小型底びき網、シラスを対象とした船びき網、ハモやタチウオ等を対象としたはえ縄漁業が盛んで、また、ノリやワカメといった海藻養殖も営まれています。太平洋に面した県南部では、イワシ類やアジ類等を対象とした大型定置網、イセエビを対象とした刺網、アワビ類を対象とする採介藻などが営まれています。

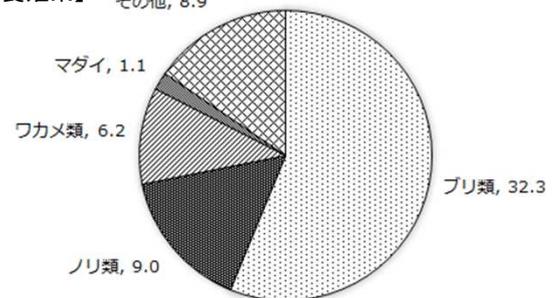
徳島県では、マグロ類、シラス、イセエビ、アワビなどの水揚げが多く、中でもイセエビ、アワビは全国上位の産出額を誇ります。



【海面漁業】



【養殖業】



徳島県のH27海面漁業・養殖業魚種別産出額  
(金額単位:億円)

## ◆新規就業者の状況

徳島県では、毎年約20名の方が新たに漁業へ就業されています。県外からの新規就業については、養殖業、大型定置網など、雇用型が中心となっています。

参考(平成28年度実績)

- 新規就業者数 23名(うち漁家子弟以外 12名)
- 年齢構成 10~20代:7名、30~40代:8名、50代~:8名
- 漁業種類 一本釣り、藻類養殖など

## ◆新規就業支援制度

漁業経験の無い方でも、次の支援制度を活用しながら、漁業就業を目指すことができます。

- とくしま漁業アカデミー  
座学、現場実習、資格取得の研修が無料で受講できる「とくしま漁業アカデミー」を開講。漁業就業に必要な知識と技術が習得できます。  
また、「とくしま漁業アカデミー」での研修期間中、生活資金の支援を受けることができます（月額12.5万円以内）。
- 長期研修支援（新規漁業就業者総合支援事業）  
漁業見習い期間中、ベテラン漁業者から実践的な技術指導を受けることができます（雇用型は最長1年間、独立型は最長3年間）。
- 定着支援（青年漁業者等就業支援事業）  
漁業就業直後の経営が不安定な期間中、漁業に必要な漁船や漁具等の資材購入費や住宅費等について支援を受けることができます。  
（最長5年間）
- 融資制度（沿岸漁業改善資金）  
沿岸漁業の経営を開始するために必要な漁船建造や機器設置等の資金について、無利子で融資を受けることができます。

その他、県内市町村による独自の支援制度があります。

- 海陽町：海陽町みらいの担い手育成事業  
就業に必要な技術習得のための実践的な研修を受けることができます（最長2年）。
- ※ 上記支援制度の活用にあたっては、一定の要件を満たす必要があります。  
詳しくは、下記の就業相談窓口までお問い合わせ下さい。

## ◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

徳島県水産振興課

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1-1

電話 088-621-2472（直通）

ファクシミリ 088-621-2863

e-mail [suisanshinkouka@pref.tokushima.jp](mailto:suisanshinkouka@pref.tokushima.jp)